



プラスチック対策

1 プラスチック問題とは

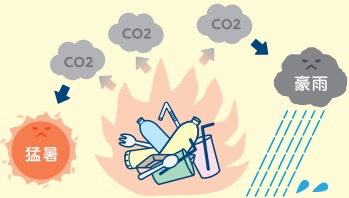
プラスチックは、軽くて丈夫、加工もしやすいことから、身の回りの様々な製品や容器包装などに幅広く使われています。一方で、優れた耐久性・安定性ゆえ、自然界で分解されにくいという特徴があります。このため、不法投棄やポイ捨てなどにより自然界に流出してしまうと、河川などを通じて海に流れ出て、海洋汚染につながってしまいます。さらに、自然環境中で、紫外線などで劣化し、破碎・細分化され、マイクロプラスチックと呼ばれる微細なプラスチックになることで、生態系への悪影響が懸念されています。また、リサイクルせず焼却した場合、温室効果ガスが多く排出されるため、地球温暖化の要因の一つとなってしまいます。

将来にわたり豊かな自然環境を継承していくためには、市民・事業者の皆様一人ひとりがプラスチック問題を自分のこととしてとらえ、不要なプラスチックの使用を減らすこと、リサイクルが適切に行われるよう分別を徹底することなど、身近な取組から始めることが大切です。

2 プラスチックを取り巻く状況

地球温暖化の状況

- プラスチックを燃やすと地球温暖化の原因となる温室効果ガス(CO2)が多く発生します。
- 温暖化は、災害級の猛暑や記録的豪雨など、地球規模の気候変動を引き起こすとされています。



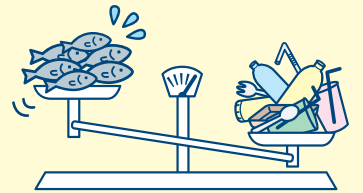
資源循環の状況

- 日本の1人当たりのプラスチックの排出量は世界第2位と多い状況です。
- プラスチックの原料である石油資源は有限であるため、不要なプラスチックを使用することは資源の枯渇につながります。



海洋汚染の状況

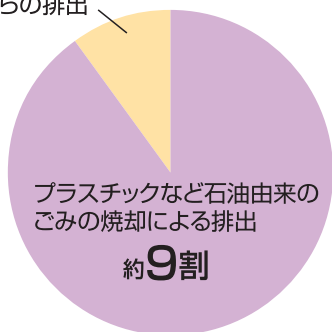
- 世界全体で年間数百万トンものプラスチックが陸上から海洋へ流出しています。このままでは2050年までに魚の重量を上回る量のプラスチックごみが海洋を占めると予測されます。



3 プラスチック由来の温室効果ガスの排出状況

ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス総排出量のうち、約9割が焼却工場でプラスチックなど石油由来のごみを焼却することで排出されており、プラスチックごみの削減が大きな課題です。

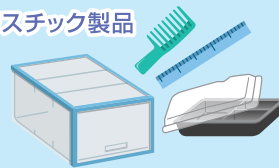
車両等からの排出



ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス総排出量の割合

現在焼却しているプラスチック

プラスチック製品



合成ゴム・合成繊維



金属などの複合素材



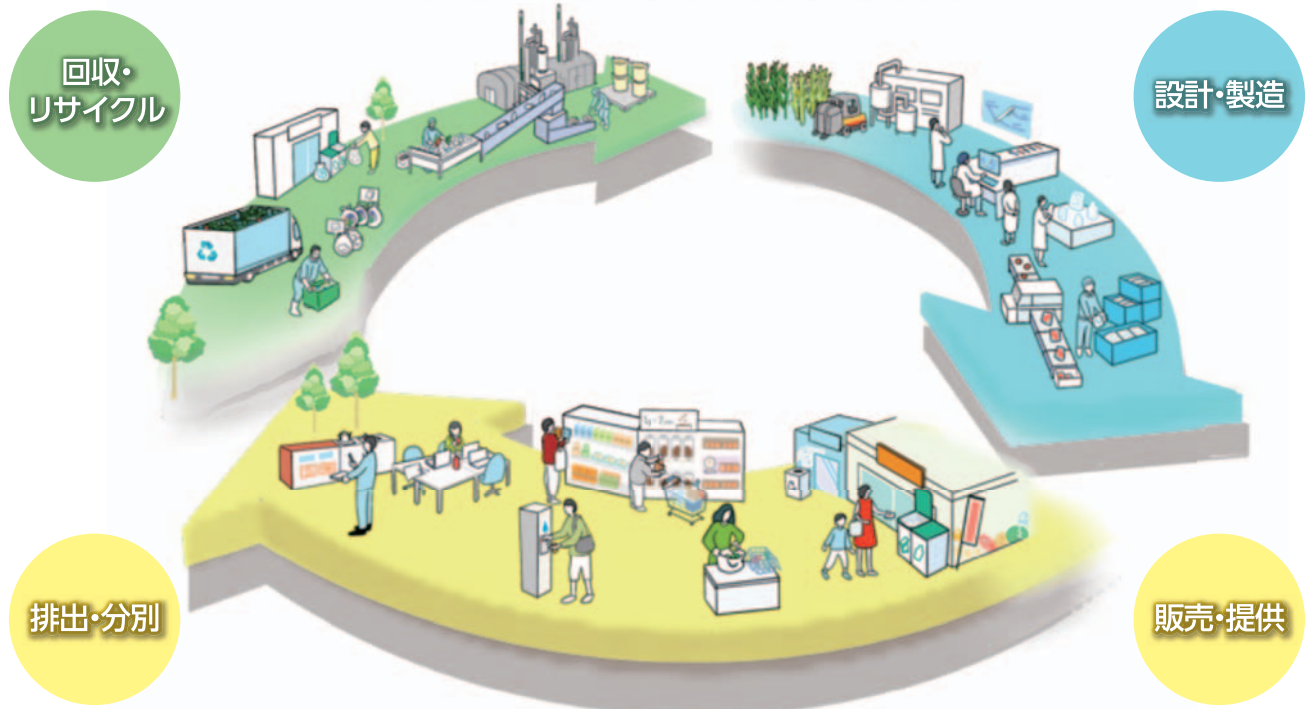
4 プラスチック資源循環法(法令名称:プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律)

プラスチックの資源循環の取組を促進するための措置を盛り込んだ「プラスチック資源循環法」が令和4年4月より施行されました。

プラスチックの資源循環に向けては、事業者、消費者、国、地方公共団体等のすべての関係主体が参画し、相互に連携しながら環境整備を進めること、相乗効果を高めていくことが重要です。各役割の取組みについて、ご協力をお願いします。

プラスチック資源循環法におけるそれぞれの役割

プラスチックは
えらんで、減らして、リサイクル



出典元:環境省HP「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の普及啓発ページ

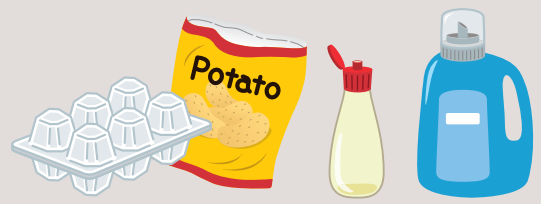
5 脱炭素社会の実現に向けて

現在、食品トレイや洗剤のボトルなどのプラスチック製容器包装の分別・リサイクルを実施しています。プラスチック資源循環法の施行を受け、これまで燃やすごみとして処理してきたスポンジやバケツ等のプラスチック製品についても対象となるよう、プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大の検討を進めており、脱炭素社会の実現を目指していきます。

既にリサイクル実施

プラスチック製容器包装

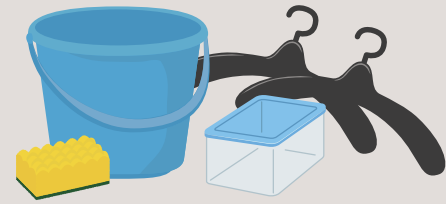
食品トレイ、洗剤ボトル、菓子袋、卵パック、調味料チューブなど



リサイクル拡大対象

プラスチック製品

スポンジ、バケツ、ストロー、タッパー、ハンガーなど



【問合せ先】 政策調整課 電話:671-2503 FAX:550-4239

6 今日からはじめよう

- **マイバッグの使用**…………… マイバッグを持ち、レジ袋をもらわない
- **マイボトルの使用**…………… マイボトルを持ち、ペットボトルの使用を減らす
- **使い捨て食器はNO!**…………… プラスチック製ストローなど使い捨ての食器をもらわない
- **分別の徹底**…………… きちんと分けてごみ箱へ
- **ポイ捨てしない**…………… きれいな心できれいな街に
- **清掃活動等の推進**…………… 街の美化、環境保全に向けて積極的に参加しよう

7 マイボトルスポット

平成22年10月より、ペットボトル等の使い捨てとなるプラスチック等の削減を目的に実施しています。

有償・無償問わず使い捨て容器ではなく、持参したマイボトル等に飲料を提供、もしくは自由に給水できる給水機等を設置している店舗、事業所、施設等を「横浜マイボトルスポット」に登録し、ウェブサイトで公開しています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

マイボトルスポット 横浜

検索



8 代替素材の利用

イベント等で市民に配布する「啓発物品」にプラスチック代替素材、100%再生プラスチックを使用したものを積極的に利用するため、趣旨に合致した啓発物品の提案を事業者の皆様から広く募集しています。



代替素材を使用したポケットティッシュ

プラスチック対策に関する様々な取組・情報を発信しています。

ツイッター

教えてプラスチックのこと▶



事業者と連携した取組

プラごみ削減キャンペーン

市内スーパーマーケット等の小売店舗で啓発を行うプラごみ削減キャンペーンを全18区で実施しました。



ペットボトルリサイクル事業

×セブン-イレブン・ジャパン×日本財団

ペットボトルリサイクル事業を進めており、横浜市内のセブン-イレブン約120店舗(設置店舗は順次拡大予定)でペットボトル回収機を設置しています。



【問合せ先】^{スリーアール}3R推進課 電話:671-3593 FAX:550-3510